

## 第一生命グループ企業理念

### Purpose

グループの社会における存在意義

共に歩み、未来をひらく  
多様な幸せと希望に満ちた世界へ

Partnering with you to build a brighter and more secure future



### Values

大切にする価値観

いちばん、人を考える

We care

私たちは、お客さま、地域・社会、  
株主・投資家、お取引先、従業員など、  
企業活動を通じて関わる  
あらゆる「人」のことを  
誰よりも真剣に考えます。

まっすぐに、  
最良を追求する

We do what's right

私たちは、お客さまや  
社会にとっての「最良」を常に  
誠実に追い求めます。

まっさきに、  
変革を実現する

We innovate

私たちは、  
スピード感をもって  
自ら変革し続けます。

### Brand Message

Purpose を端的に表した  
コミュニケーションメッセージ

一生涯のパートナー

By your side, for life

#### ▽ プロローグ

第一生命グループ企業理念

新商号について

Contents

本報告書でお伝えしたいこと／情報開示体系／  
社外からの評価

> Accelerate Transformation

> 資本効率向上への変革

> サステナビリティ取組みによる  
経営基盤の強化

> データセクション

新商号について

# 第一生命グループはDaiichi Life Groupへ

当社は、生命保険事業を中心に、資産形成・承継事業、さらに非保険事業へと事業領域を拡大してまいりました。

今後、社業を生命保険領域にとどまらない「保険サービス業」へと進化させ、

一人ひとりに寄り添い「人生」の可能性をひらく企業へと変革を遂げることで、

「グローバルトップティアに伍する保険グループ」へと大きな成長を実現していくことを目指し、

当社は「株式会社第一ライフグループ」へ商号変更することを決定しました。

新商号は、グループ企業理念に込めた想いを表現した名称です。商号変更に伴い、グループブランド名称は「Daiichi Life」といたします。

(変更予定日:2026年4月1日)



## 新商号・ブランド名称・ロゴに込めた意味

「第一ライフ/Daiichi Life」の「ライフ/Life」は、生命保険や生命という狭い意味の“Life”にとどまらず、

人々の人生や日々の生活というより広い意味の“Life”を意味します。

当社グループが「一生涯のパートナー」として、生命保険の枠を超えて一人ひとりに寄り添い多様な人生の可能性をひらく企業となり、

世界の人々やその生活に貢献する意志を込めています。

「第一/Daiichi」は、いちばん人を考え、まっすぐに最良を追求し、まっさきに挑戦・変革するという、当社が大切にしている価値観を示しています。

新ブランドロゴは、挑戦・変革によって力強く、多様な未来や可能性をひらいていく姿勢を象徴したデザインです。

## ✓ プロローグ

第一生命グループ企業理念

新商号について

Contents

本報告書でお伝えしたいこと／情報開示体系／  
社外からの評価

> Accelerate Transformation

> 資本効率向上への変革

> サステナビリティ取組みによる  
経営基盤の強化

> データセクション

# Contents

## プロローグ

- 01 第一生命グループ企業理念
- 02 新商号について
- 03 Contents
- 04 本報告書でお伝えしたいこと／情報開示体系／社外からの評価

## Accelerate Transformation

- 06 グループ経営管理体制
- 07 グループ事業概要
- 08 グループCEOメッセージ



- 14 グループCFOメッセージ
- 19 グループCIO／CDOメッセージ
- 20 グループCDAOメッセージ
- 21 グループCHROメッセージ
- 22 グループCSuOメッセージ
- 23 コア・マテリアリティ
- 25 長期ビジョンとその実現までのロードマップ
- 26 2024-2026年度中期経営計画
- 28 変革を加速するための資本
- 30 価値創造プロセス
- 31 取締役による座談会



## 資本効率向上への変革

- 38 人財戦略
- 41 IT・デジタル戦略／データ・AI戦略
- 42 国内保障事業戦略
- 43 資産形成・承継事業戦略
- 44 海外生保事業戦略
- 46 新規事業戦略
- 48 国内のCX向上に向けた取組み

## サステナビリティ取組みによる経営基盤の強化

- 50 グループサステナビリティ推進体制
- 51 気候変動・自然資本への取組み  
—TCFD・TNFD提言に基づく開示—
- 54 人権の尊重
- 55 コーポレートガバナンス  
コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方／コーポレートガバナンス体制  
取締役会の機能・構成  
取締役会の実効性向上に向けた取組み  
当社取締役の有する見識および経験  
(取締役スキルマトリクス)／サクセッションプラン  
役員報酬  
コンプライアンス／リスク管理  
ITガバナンス  
政策保有株式  
グループ税務ガバナンス／当社グループ出向者による個人情報等の漏えい事案を踏まえた再発防止策
- 65 役員体制

## データセクション

- 69 業界データ
- 71 グループ各社紹介
- 73 財務・非財務ヒストリカルデータ
- 75 イニシアティブへの参画／主な表彰
- 76 用語集
- 77 発刊にあたって／サステナビリティ関連データ・第三者保証

## ▽ プロローグ

- 第一生命グループ企業理念
- 新商号について
- Contents
- 本報告書でお伝えしたいこと／情報開示体系／社外からの評価

## > Accelerate Transformation

## > 資本効率向上への変革

## > サステナビリティ取組みによる経営基盤の強化

## > データセクション

## 本報告書でお伝えしたいこと

### 統合報告書2025の編集方針

第一生命ホールディングスの統合報告書は、お客さま、株主・投資家をはじめとした多様なステークホルダーの皆さまに、当社グループの持続的な価値創造についてお伝えすることを目的として制作しています。

当社グループが2030年度に目指す姿の実現に向けた、グループCXOや事業オーナーのメッセージを充実させました。企業価値向上にいかに取り組んでいるのか、読者の皆さまに伝わりやすいような編集を心掛けたので、ご理解の一助となれば幸いです。

統合報告書2025では読みやすさを重視して、会社の特長や強み、ステークホルダーの皆さまへお伝えしたいことなどのポイントを押さえながらもコンテンツを絞り込み、他の開示媒体との住み分けに注力しました。具体的には、情報開示体系(レポートユニバース)に基づき、サステナビリティや人的資本に関する詳細な取組みやデータ等については、[□サステナビリティレポート](#)や[□人的資本レポート](#)、当社ホームページで閲覧いただけるように統合報告書上にリンクを付して誘導し、統合報告書のページ数の大幅な削減に取り組みました。これにより、読者の皆さまが必要な情報にスムーズにアクセスできる、わかりやすく

てコンパクトな統合報告書を目指しました。

また、利便性・アクセシビリティの向上、環境負荷低減の観点から、今年度より紙に印刷した冊子版を廃止しオンラインのみでの開示といたしました。パソコンやタブレット等のデジタルデバイスでの閲覧に適した横型へと変更し、デザインの視認性向上にも取り組みました。横型の統合報告書は投資家の方々との面談でも多くのご要望を頂戴しましたので、取り入れることにしました。

なお、統合報告書の作成にあたっては、IFRS財団が提唱する「国際統合報告フレームワーク」、グローバル・レポート・イニシアティブ(GRI)の「サステナビリティ・レポート・スタンダード」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考としています。



本誌は「保険業法(第271条の25および第272条の40)」ならびに「保険業法施行規則(第210条の10の2および第211条の82)」に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書類)です。

## 情報開示体系(レポートユニバース)



## 社外からの評価

当社グループは、事業活動や社会貢献活動を通じて、お客さま・地域社会に寄り添った取組みやサステナビリティ情報の開示を進め、国内外でさまざまな評価を受賞しています。

■ 当社が組み入れられているESGインデックス ※特段の注記がない限り2025年6月時点

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>FTSE4Good Index Series<sup>※1</sup></p>      | <p>FTSE Blossom Japan Index<sup>※1</sup></p> | <p>S&amp;P/JPXカーボン・エフィシエント指数</p>                   |
| <p>2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数</p> | <p>2025 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)</p> | <p>Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index</p> |
| <p>MSCI 日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数<sup>※2</sup></p>    | <p>MSCI 日本株 女性活躍指数<sup>※2</sup></p>          | <p>Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index</p> |

※1 FTSE Russell (FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標)はここに第一生命ホールディングスを独立した立場で調査を行った結果、FTSE4Good Index Series並びにFTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証明します。FTSE4Good Index Series並びにFTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンスについて優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE4Good Index Series並びにFTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

※2 第一生命ホールディングスをMSCIインデックスに組み入れること、および第一生命ホールディングスがMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名を使用することは、MSCIまたはその関連会社による第一生命ホールディングスへのスポンサーシップ、賛同、または宣伝を表明するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックス名とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

### ✓ プロローグ

第一生命グループ企業理念

新商号について

Contents

本報告書でお伝えしたいこと / 情報開示体系 / 社外からの評価

➤ Accelerate Transformation

➤ 資本効率向上への変革

➤ サステナビリティ取組みによる経営基盤の強化

➤ データセクション